

中学生の部



人と水

石巻市立山下中学校 2年 栗林 希々花

普段から、誰もが当たり前に使っている水。

人は、のどが渇いたときに、水を飲んで水分補給をします。もし、人間が水を飲まなかったらどうなるのでしょうか。私は、調べてみることにしました。

まず、体内の水分の2パーセントが失われると、のどの渇きを感じます。その後さらに、6パーセントが失われると、頭痛や眠気などの身体症状となり、10パーセント失われると筋肉の痙攣も表れるそうです。そして、体内の水分が20パーセント失われると、死に至るとありました。

人間は体内の水分が減ると、様々な体の異変が起き、死に至ることもあるということを知り、私はとてもショックを受けました。

思い返してみると、私も昨年の夏に、水分をとらずに外を歩いていた時、頭が痛くなったことがありました。すぐに水分を取ると、少しずつ治っていきました。この時の私は、6パーセントの水分を失っていたということになります。こまめな水分補給はやはり大切なことだと実感した出来事でした。

しかし、そもそもきれいで冷たい水を飲むことができない国もあります。アフリカなどの6億63百万人の人々は安心して飲める水がなく、整備されていない湖や池の水を飲んでいるそうです。そのような安全ではない水を飲むことで、年間約30万人、毎日800人以上が、命を落とす現実があります。さらに、近くに水がない場合は、水を手に入れるために、何時間も歩いて探すこともあります。水を探す役目を担うのは多くが子どもで、毎日8時間以上（1日の活動の半分以上）を使って水を手に入れるのだそうです。

対して、日本は蛇口をひねれば、どこでもきれいな水が手に入ります。世界的に見ると、これは特別なことであり、決して当たり前と思てはいけなことです。そんな日本に住む私たちは、水をどれだけ大切なものとして使用しているのでしょうか？例えば、ある調査では歯みがきの時に、水を1分間出せばなしにしたとすると、12リットルもの水が無駄になるとありました。その他にも、日常生活の中で、水を必要以上に使ったり、無駄にしたりしていることがあると思います。

私自身、自分の行動を振り返ってみると、水の無駄遣いと言えることが思い当たります。

水が不足している国では、子どもたちが苦勞して水を手に入れ、汚い水を飲み病気になることを私たちは学ぶべきだと思います。そして、一人ひとりが、水の無駄遣いをしないよう、心掛けることが必要だと思いました。

また、調べていて驚いたことがもう1つありました。それは、日本が年間600億 m^3 以上もの外国の水を使っているという記事でした。

詳しく内容を見ていくと、これはバーチャルウォーター（仮想水）と呼ばれるもので、直接的に利用しているわけではないですが、間接的に利用している水のことでした。どういうことかということ、日本は食料品を海外から多く輸入しています。そうした輸入される農作物や畜産物を生産するためには膨大な水が使われているのです。バーチャルウォーターは、日本の全国民およそ1億2千万人が直接利用する水の、約5年分もの量になるとのデータもありました。

こうした記事から、私たちが食べている輸入食品はその生産国の大事な水を、使って作られており、無自覚に外国の水を消費してしまっていることが分かりました。つまり、本来ならば、その国に住む人が飲んだり使ったりできるはずの水を、我々が間接的に奪っていると言えるのです。

水が足りなくて苦しんでいる人がいる中で、私たち日本人は水を大量に消費しています。

今回、水について調べてみたことで、日本のようにきれいな水が手に入ることは、とても有り難いことなのだとはよく分かりました。

これからは、より一層の感謝の気持ちをもって水を使っていきたいです。